

まちの ニュース

名牛「平茂勝号」 顕彰像除幕式

11月11日、当地域が全国に誇る名牛「平茂勝号」の功績をたたえる顕彰像除幕式と落成記念式典などが薩摩中央家畜市場で行われ、県内外から約850人が出席しました。

「平茂勝号」は、平成2年に本町の長谷義信さん宅で誕生し、故徳重學さんに種雄牛として育成され、平成4年の第6回全国和牛能力共進会で農林水産大臣賞を受賞しました。その後、県内外で開催される各種共進会・枝肉共励会などで、その子牛は高い評価を受け、当地域から生産される平茂勝号の産子は、全国の農家・購買者の注目の的となり、薩摩中央家畜市場の子牛せり価格の大幅な引き上げ（平成16年の子牛価格は全国ランキングでは4位）、「薩摩の牛」の名声と現在の畜産基盤づくりと畜産業の振興発展に大きく寄与しています。これまでの産子は約25万頭で、15歳4か月の現在も精液を供給しています。

かけぼし米体験ツアー

10月23日、第5回かけぼし米体験（稲刈り）が久富木区内のめだかの田んぼで行われました。

鹿児島市などから17組の参加があり、秋晴れのもと鎌による手刈りや昔ながらの方法による天日かけぼしを地域の方々の指導を受けながら楽しそうに体験していました。その後、いも掘り体験も行われ、大きく育ったいもを丁寧に掘り起こしていました。

また昼食では、焼肉やかに汁、新米のおにぎりが振る舞われ、参加者はおいしそうに食べていました。



「平茂勝号」顕彰像除幕式の様子



広い田んぼで楽しく稲刈り



大きく育ったいもを掘り起こす参加者

ふなの稚魚放流

10月28日、求名区地域活動支援事業の一環としてふなの稚魚15キロが狩宿地区浦川内川に放流されました。

この事業は、同地区の村づくり実行委員会が毎年実施している河川美化活動の中で、「川魚とふれあう河川づくり」を合い言葉に鯉を放流したのが始まりで、今回は川内川内水面漁業協同組合の協力で実施されました。求名小学校狩宿分校1年の屋地羅緒くんや保育園児が地域の高齢者と一緒に「早く大きくなれ」と願いを込めて放流しました。



ふなを放流する子どもと高齢者